



大阪広域NEWS

Vol.2

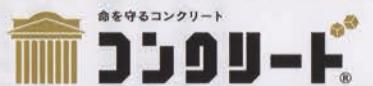
発行

大阪広域生コンクリート協同組合

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号

新瓦町ビル5階

TEL.06-6222-5661 FAX.06-6222-5662

www.osaka-kouiki.or.jp

明日の大阪のために…



平成29年3月28日(火)14時より、大阪市中央区・ホテルヴィアーレ大阪において当協組の臨時総会が開催された。本総会の議案は、平成29年度手数料・賦課金に関する件、定款一部(第7条(事業)、第24条(役員の定数)及び第54条(法定繰越金))変更の件、平成29年度事業計画並びに収支予算案承認の件、平成29年度1組合員に対する保証限度額承認の件、平成29年度構造改善・集約廃棄斡旋事業の件の5議案。

開会に先立ち、まず木村貴洋理事長の挨拶ではじめました。



理事長挨拶
大阪広域生コンクリート
協同組合 理事長

木村 貴洋

さらなる大団結と組織改革に向かって

2017年3月28日(火) ホテル ヴィアーレ大阪

本日は、年度末のお忙しい中、大阪広域生コンクリート協同組合臨時総会に多数ご出席頂き、誠にありがとうございます。

さて、当協同組合は、昨年6月、全社による共同販売事業を開始いたしましたが、その後、販売価格・販売数量ともに順調に推移し、当初の目標であった組合員の経営収支の改善も進み、合流による成果が確実なものとなっていました。

今後更に組織改革を推進し、力強く前進してまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

先般、直接の監督官庁である近畿経済産業局産業部中小企業課の5名の方が来訪の折、「貴協組の活動は、組合員の経済的地位の向上に努めるという、協同組合設立の本来の主旨を実践するものであり、関西経済を牽引していると言えます。

また、公正取引委員会を定期的に訪問し、当協組の事業活動が、コンプライアンス上問題があるか否かについて、ご指導を仰ぎながら日々の運営に当たっております。

先日3月8日、当協組の顧問弁護団5名と顧問弁護士の種村先生にもご参加いただき、コンプライアンス会議を開催いたしました。

当協組の事業活動及び今後の事業計画について、コンプライアンス上、留意すべき点について先生方のご意見を拝聴いたしました。このコンプライアンス会議については、今後も定期的に開催することにより、法令遵守の協組運営を行ってまいります。

また、当協組は生コン協同組合として日本で初めて監査法人と、今後予想される生コン需要の減少

に対処すべく、需給バランスの是正に取り組んでまいります。

この後、今後一年間の事業計画並びに予算案についてご説明させていただきます。皆さんの忌憚のないご意見を頂戴し、今後の協組運営に活かしてまいりたいと考えております。

それでは、これより各議案について慎重なるご審議の程、よろしくお願い申し上げ、甚だ簡単ですが、開会の挨拶を致します。

ありがとうございます。

本題である以下の5議案が附議され、順次討議されました。

議案審議

続いて、本題である以下の5議案が附議され、順次討議されました。

(法) 第1号議案 平成29年度手数料・賦課金に関する件

1. 販売手数料・賦課金
2. 構造改善費用分担金
3. 赤黒調整金
4. 営業対策費
5. 参事出向手当
6. 参事出向手当負担金
7. 瑕疵保証責任保険・P.L.保険
8. 品質保証積立金
9. 再生事業預り金

(法) 第2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算案承認の件

1. 共同販売に関する事業
2. 共同販売数量

(法) 第3号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算案承認の件

1. 共同販売に関する事業
2. 共同販売数量

定款一部変更の件
定款第7条(事業)では、当協組の組合員が経済活動を行うに際して、当協組の信用力を活用して取引条件を改善する等を通じ、当協組組合員の資金繰りを容易にすることを目的とする定款変更理由書により、

(3) 銀行、信用金庫、信用協同組合に対する組合員の債務の保証又はこれらの金融機関の委任を

うけてする組合員に対するその債権の取立てが追加。また、

2. 定款第24条(役員の定数)では、在籍する組合員が105社125工場から111社133工場に増加したこと及び今後も組合員数が増加する見込みがあるためという定款変更理由書により、

木村 貴洋

明日の大阪のために…

